

安全就業だより

* 事故の発生状況 H24 年 8 月 20 日現在 *

猛暑続きの夏も“ロンドンオリンピック”や“高校野球”の閉幕とともに朝夕の涼風を感じ、次第に和らぎながら秋色が感じられる季節となってきました。

日々暑い中、それぞれの作業に就労していただき、何とか大事故に遭遇されることなく乗り切っていただけたものと思っております。7月27日には熱中症予防のため、除草作業現場に対し“午前中切り上げ”が発信されました。また事務局で準備・案内させていただいた“熱中飴”も大人気でお盆前に急遽追加発注したところです。



熱中症の発症は、梅雨明け～8月がピークとされていますが、地球温暖化等の影響により10月頃まで発症例が報告されています。炎天下での作業現場や換気の悪い室内では温度も湿度も高く、天気予報が26～27℃の時には作業環境は30℃超になっていると考えられ要注意です。

昼食時の冷たいビールは、喉を潤おし体温も下げしてくれるのですっきりしますが、ビールは排尿を促進しますので水分補給の役割を果たさないばかりでなく、かえって血液のドロドロ化をまねき且つ脳の熱コントロール機能を低下させ脱水症状を助長することになっているとのことです。

最適飲み物は、普段から飲み慣れた水（煮沸湯冷まし）で作った塩水です（1Lの水に2～3gの塩を溶かす）。熱中症は身体から水分と塩分が過度に放出された時に起きる症状だからです。

【今年度の賠償事故状況】

- ・草刈り中の飛石事故3件・工場内リフト運転事故1件
車両運転事故1件です。
 - ・発生曜日は、月曜日4件・土曜日1件となっております事故扱いになっていないヒヤリハットの2件も月曜と土曜日でありまさに魔の月曜日とやれやれの週末が危険信号といえます。
 - ・発生状況は、①8～9m程離れた車両への飛石事故2件と、作業終了間際にちょっと手直しの時に起きた飛石事故1件です。
 - ②工場内フォークリフト事故は、狭い箇所ではフォークを揚げたまま旋回したために天井の蛍光灯と天井板を損壊した。
 - ③車両運転事故は一旦停止交差点で1台通過後見きり発車し、2台目の車に側面衝突した。
- これらいずれの事故も「大丈夫との思い込み」によるもので、会員同士の「ネットを張ろう！
車をどけよう！」の声掛けやもう一度の「指さし確認・声出し確認」をしていれば防げた事故です。



“仲間との声掛け（注意喚起）！ 自分自身で指さし確認・声出し確認！ を実行して下さい”